

人権教育通信【WAD】⑦号

～We Are Different～

文責：宮野

日向中学校では、7月3日（木）に人権教育集会が行われました。まず「命の大切さ」「平等と公平」について考え、その後昨年度も集会で伝えた「マイクロアグレッショング（無自覚の差別行為）について全校生徒で考えました。日常生活において、無意識の偏見や思い込みが言葉や態度に現れ、否定的なメッセージとなって伝わり、私たちは意図せず誰かを傷つけてしまっていることがあるかもしれません。発言した人によっては「そんなつもりはなかった」「それぐらいのこと」と理解してもらえないことも少なくないです。「自分がされて嫌なことはしない」という言葉があります。では、「自分がされて嫌じゃないことは、相手にしても大丈夫なのでしょうか。」以下、生徒が感じたことのある「マイクロアグレッショング」を一部紹介します。ぜひ、「えっ！それ言われたら嫌なんだ！」、「これは自分も嫌だな」、「あっ、それ言ったことがあるな」といった視点で読んでみてください。ポイントは、「人によって違う」ということです。

「マイクロアグレッショング」～日向中生徒の振り返りより抜粋～



「〇〇と一緒に良かった～」、「お姉ちゃんだから我慢して」、「身長低い方がいいね」、「自分じゃない人のほめ言葉をずっと聞かされる」、「～らしいよ」、「～って言ってたよ」、「第三者が首を突っ込んできたこと」、「努力をしてきたのに、もとが良いんだね、と言われたこと」、「身長高いね」、「〇〇なら大丈夫でしょ」、「努力しているのにそれを生まれつきみたいに言わないでほしい」、「十分点数いいじゃん」、「しっかりしてそうに見えて、ちょっとぬけてるよね」、「年上だからちゃんとしなさい」、「兄弟と比べられること」、「親切心で落ちたものを拾おうとしたときに、いいよ、と言われた。」、「頭いいんだから成績表見せてよ」、「もう中学生でしょ」、「気にしすぎだよ」、「頑張れ（もう頑張ってるんだけどな）」、「何でそんなに勉強できると？」、「塾行ってるからテストも100点でしょ。」

誰がされても嫌なことは分かりやすいですね。だけど、人によって違う。だからこそ、「言葉」は大事にしなければなりません。考え方だけではありません。次は人権教育集会を終えて書いた生徒の感想を一部紹介します。



人権教育集会を終えて～日向中生徒の感想より抜粋～

○自分も無自覚に差別をしているかもしれない、気を付けたいです。○命の大切さを改めて感じました。夏休み前に聞けて良かったです。○言葉遣いや夏休みの過ごし方など、今までの生活をたくさん見直していきたいです。

○相手との距離感、考え方の違いがあることをしっかり考えて人と関わっていきたいと思いました。言葉の重みを考える。

○海や川ではルールを守って泳ぐことを大事にしたい。○マイクロアグレッショングが命に関わることがあるから、気を付けて発言をしていきたい。○水難事故の話の時に28人は少ないなど感じたけれど、自分の友達や家族と考えたときに、自分が無意識に他人事と考えていてドキッしました。もっと自分事である自覚をもとうと思いました。○人によって違うことはとても難しいし、分かり合うことも大変だけど、自分ができる限りのことで努力して周りの人に嫌な思いをさせたくないと思いました。○平等と公平は違うことを頭の中に入れておきたいです。自分の行動を振り返ると、マイクロアグレッショングをしていたかもしれない、気を付けたいです。○自分事として考えて言葉をかけることを大事にしていきたいです。○何事も自分の周りでおきたら…と頭に入れておくのが大切だと改めて感じました。○日頃から放送をちゃんと聞くように心がけたいです。○「ちゃんと聞く」ことは命を守ることにつながると感じた。○当たり前のことを先生がすごく褒めていたことがあります。私はなんで？と思い、私もほめてほしいと思いました。でももしかするとその子にとっては頑張ったことなのかもしれないと思いました。自分と違う人は必ずいることは当たり前で普通だと思い続けたいです。

○自分は絶対にいじめはしていない、と言えるような行動をすることも大事だけれど、本当に大丈夫かな、と常に疑うことも大切だと思った。○お互いを知ることで「蚊」に刺されにくくなる。○無自覚が一番怖いと思った。

人権教育担当より

「人権意識・感覚」は誰もがもっているものです。あとはそれだけ高めていくか、磨いていくかです。悪意のある差別行為は絶対に間違っています。そして、無自覚の差別行為をなくしていくためには、まず相手を「知ること」が大切ですね。